科目名	和声法 1			科目コード	1907
開講学科	音楽学科	単位数	4	形態	演習
教員名	吉良武志・徳備康純				
授業の目的及びテーマ					
<p>和声法は音楽を学習する者にとって極めて重要な学習内容です。 作曲、編曲の基礎となるばかりでなく、演奏に際しての楽曲分析、演奏解釈等のためにも、和音配置と連結の基本を身につけてほしいものです。ここでは、バロックから古典派、ロマン派の音楽に用いられた和声法を学習します。</p>					
授業概要					
<p>四声体（ソプラノ、アルト、テノール、バス）による和音配置と連結を学習します。 下記の授業計画に記述の通り、基本形三和音を四声体に配置し連結することからはじめ、属七の和音までバス課題及びソプラノ課題を実施していきます。報告課題を提出、添削を受けながら学習を進めてください。 四声体和声の制作にとどまらず、鍵盤楽器による演奏等を通して和声感覚を養うことも重要です。</p>					
授業計画					
<p>第 1 回：和声法学習への予備知識①長調と短調、調と調号 第 2 回：和声法学習への予備知識②三和音、和音記号 第 3 回：和声法学習の意義及び四声体和声の書法 第 4 回：和音の配置及び声部進行の原則 第 5 回：和音の機能とカデンツ 第 6 回：基本形三和音の配置及び連結（共通音を含む和音への進行） 第 7 回：基本形三和音の配置及び連結（共通音を含まない和音への進行） 第 8 回：基本形三和音の配置及び連結（例外的な進行） 第 9 回：基本形三和音のバス課題演習（「総合課題集」1頁） 第 10回：基本形三和音のソプラノ課題演習（「総合課題集」2頁） 第 11回：第一転回形三和音の配置と和音進行 第 12回：基本形及び第一転回形三和音までの和音設定と連結 第 13回：第一転回形三和音までのバス課題演習（「総合課題集」3頁） 第 14回：第一転回形三和音までのソプラノ課題演習（「総合課題集」4頁） 第 15回：第一転回形三和音までの追加課題実施及び四声体和声法の習熟</p>		<p>第 16回：第二転回形三和音の配置、定型と連結① 第 17回：第二転回形三和音の定型と連結② 第 18回：第二転回形三和音までのバス課題演習（「総合課題集」5頁） 第 19回：第二転回形三和音までのソプラノ課題演習（「総合課題集」6頁） 第 20回：終止形の演習①（全終止、偽終止） 第 21回：終止形の演習②（変終止、半終止） 第 22回：属七の和音（基本形）の配置及び限定進行 第 23回：属七の和音（基本形）からの和音連結 第 24回：属七の和音（基本形）までのバス課題演習（「総合課題集」7頁） 第 25回：属七の和音（基本形）までのソプラノ課題演習（「総合課題集」8頁） 第 26回：属七の和音（転回形）の配置及び和音進行 第 27回：各種終止形、ドミナントからトニックへの進行をふまえた和音設定 第 28回：属七の和音（転回形）までのバス課題演習（「総合課題集」9頁） 第 29回：属七の和音（転回形）までのソプラノ課題演習（「総合課題集」10頁） 第 30回：追加課題実施及び四声体和声法の習熟、今後の和声法学習（和声法2）への展望</p>			
テキスト	Web教材「和声法1」（大阪芸術大学配信）	参考文献	「和声理論と実習1」（音楽之友社）他		
評価方法：					
<p>通信授業は提出課題6件を以って評価します。 面接授業は受講態度、授業中の提出課題等により総合的に評価します。</p>					